

《Lesson 2》 未来形□ be going to 否定文

be going to の否定文は、基本的に be 動詞の否定文と同じ扱いになります。そのため、肯定文を作り be 動詞の後に not を足してあげれば完成となります。

【未来形□ be going to の否定文：基本の形】

主語 + be 動詞 + not + going + to + 一般動詞の原形 + 。

(「主語」は「一般動詞」しないつもりです)

(「主語」は「一般動詞」しない予定です)

(「主語」は「一般動詞」しないでしょう)

<例> He is not (isn't) going to teach English. (彼は英語を教えないつもりです)

They are not (aren't) going to come to Japan. (彼らは、日本には来ない予定です)

I am not going to work tomorrow. (私は、明日は働かないでしょう)

【作り方】

ステップ 1 : be going to の肯定文を作る。

ステップ 2 : be 動詞の後ろに not を足す。

(am 以外の be 動詞の場合、be 動詞と not の短縮形を使うことも可)

<例 1> 「彼は英語を教えないつもりです」という文の場合。

ステップ 1 : be going to の肯定文を作る。→ 「彼は英語を教えるつもりです」

He is going to teach English.

ステップ 2 : be 動詞の後ろに not を足す。

He is not (isn't) going to teach English.

<例 2> 「彼らは日本には来ない予定です」という文の場合。

ステップ 1 : be going to の肯定文を作る。→ 「彼らは日本に来る予定です」

They are going to come to Japan.

ステップ 2 : be 動詞の後ろに not を足す。

They are not (aren't) going to come to Japan.

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。